

令和5年10月6日

保護者様

松戸市立小金中学校  
校長 佐藤 正大

### 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

時下、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。また、日頃から本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、このたび令和5年度全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

つきましては、本校の全体的な学力や学習の状況についての一端を知っていただくとともに、家庭学習の際の参考にしていただけるようお願いいたします。

また、学校においても、結果に基づき、授業の改善や指導の工夫に努め、生徒の学力向上に取り組んでまいりますので、保護者の皆様の御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和5年4月18日(火)〈国語・数学・英語〉 28日(金)〈英語「話すこと」〉

(2) 調査の対象 全国の中学3年生

#### (3) 調査の内容

##### ア 教科に関する調査

・国語、数学、英語の3教科に関する問題。

##### イ 生活習慣や学習環境に関する調査

アンケート形式での調査(国語・数学・英語の3つの教科に関しての意識調査含む)

#### 2 調査結果

##### (1) 教科に関する調査

**国語・数学・英語の3教科において、本校生徒の平均は、全国及び県の平均を上回っています。**

##### ア 国語について

・全ての項目において「知識・技能」の基礎基本の定着が見られます。特に、「書くこと」については全国・県の平均を大きく上回っています。

・「意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について正しく理解し、読み取った情報を自分の持っている知識や経験と結びつけて考える力」を身につけることができるとより良いです。

## イ 数学について

- ・すべての項目において基礎基本の定着が見られ、数学的用語も概念や現象として理解できている。また、中学生の苦手な「文字を使った説明」についても正答率が高かった。
- ・「複数のデータの分布の傾向を元に説明する力」など論理的思考力が身につくとより良いです。

## ウ 英語について

- ・すべての項目において基礎基本の定着が見られ、「1対1の会話のやりとりから情報を正確に読み取る力」「英文を読み、事実と考えを区別する力」「文法・言語の働きを理解する力」が特に身についています。
- ・「話すこと」については、非常に高度な問題でありながら、正答率は全国・県の平均を上回っています。聞き慣れない単語もあるなかで、既習事項を駆使してコミュニケーションを図ろうとする姿勢が育まれています。
- ・「文章を読み、感想や賛否など自分の考えとその理由を表現する力」が身につくとより良いです。

## (2) 生活習慣や学習環境に関する調査（全国の調査結果と見比べたときの本校の特徴）

- ・8割以上の生徒が「規則正しい生活を送っている」と解答しており、朝食の喫食率の高さ、起床就寝時刻も安定している生徒が多いです。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒が多いです。
- ・「学校生活が楽しい」「友達関係に満足している」という問いには9割の生徒が肯定的な回答をしています。一方で「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる友人にいつでも相談できる」という問いに肯定的な回答をした生徒は6割に程度という状況です。学級活動、行事などをおして、日頃からの人間関係を大切にさせます。

## 3 まとめ

本校生徒の国語、数学、英語の学力状況は、全体的に概ね良好であると言えます。知識を問うような問題や基礎基本の問題に対してはどの教科も非常に高い正答率でした。これからの課題として、問いに対して「自分の考えとその理由を表現する力」「情報を正しく理解し、自分の知識や経験と結びつけて考える力」を身につけさせていくことが小金中の学力をさらに向上させる術だと思っています。各授業や学級活動で「自分のことを考える」場面を設定していきます。

本校生徒の様子としては「人の役に立ちたい」と考えている生徒も多いです。学級活動などで時事問題に触れ、「国内外問わず、どのようなことが問題になっているのか」を知識として持つこと、そして総合的な学習の時間で取り組んでいる「SDGsの学習」などをおして、漠然とした「人の役に立ちたい」という考えから「人の役に立つとはどういうことなのか」「自分にできることはなんなのか」を考えることができる生徒を育てていきたいと思えます。

今後も家庭と学校が互いに連携した教育活動を推進し、本校生徒の一層の学力向上を図ってまいりたいと思えます。御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。